



主な内容

- ②……軽自動車税の税率改正のお知らせ
- ③……年末年始の市の業務、年金通信
- ④……年末年始の医療機関、伊賀地域二次救急実施病院

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

いか 行かない

知らない人について行かない

子どもにとって知らない人とは一。○○ちゃんと名前を呼ばれたら、顔は見たことがあるけど…、など知らない人の定義は難しいものです。相手が知っているでも自分が知らない場合などは、知らない人と具体的に教えましょう。また犯罪に巻き込まれるのは、1人でいるときです。外で遊ぶとき、通学の際には、必ず友達と一緒に行動させましょう。



の 乗らない

知らない人の車に乗らない

住宅街をノロノロ走る不審な車や見慣れない駐車中の車には要注意。「写真を撮ってあげる」「子犬と一緒に探して」など子どもが興味を持つ言葉で誘うのはよくある手口です。駐車中の車のそばを通らない。危険を感じたら、車とは反対方向に逃げるように教えてください。



お 大声で叫ぶ

危険なときは大声で

「危険を感じたときは大声を出して」と言っても、いざというときできるかが問題です。日ごろから、あらゆる場面を想定して、訓練をしてください。「自分の子どもが大声を出せるか」「留守番のときにチャイムがなったらどうするか」など、子どもの対応能力を把握し、その子に合った対策などを話し合ってください。



す すぐ逃げる

安全な場所へすぐ逃げる

人通りの少ない道や見通しが悪いところは、犯罪が発生しやすい場所です。子どもには普段通る道でも、どういう所が危険で、不審な人に声を掛けられたらどこに避難すべきか、一緒に歩いて、防衛策も考えてください。

危険な目に遭った場合、緊急的に避難することに協力してくれる「子どもを守る家」(*)のことも知っておいてください。



子どもを守る家の目印

最近、子どもが被害者になる犯罪が多く発生しています。市内でも不審者情報が相次いでいます。防犯の合言葉「いかのおすし」子どもを持つ保護者なら聞いたことがあるこの言葉。あらためて、子どもを守る防犯対策と一緒に考えてください。

岡文化生涯学習室 ☎63-7892

子どもの防犯対策 合言葉は いかのおすし



し 知らせる

何かあったら親に知らせる

外に出掛けるときには、必ず「どこで、だれと、何をして、何時に帰る」と子どもに聞いてください。家の人が不在で出掛けるときは、必ずメモを残すことも習慣付けさせてください。

もし、危険な目や不審者に声を掛けられたときなどは、必ず、家の人にはもちろん、警察、学校の先生に知らせるように普段から話をしてください。



文化生涯学習室 室長 岡岡 昌行

相次ぐ不審者情報に、防犯パトロールも強化しています。

市内では、不審者が相次いで目撃されています。特に9月から11月までの間は、29件もの情報が連続して寄せられました。「カメラで盗撮された」「付きまわられた」といったケースが多くなっています。学校では、不審者情報を確認すると、保護者に対して注意を呼び掛けています。また、補導センター職員をはじめ、地

域の皆さんや名張少年サポートふれあい隊は防犯パトロールの回数を増やし、不審者対策を強化しています。

冬休みに入りますが、ご家庭で子どもと一緒に防犯対策について考えてみてください。そして地域の皆さんも子どもたちの安心・安全を守る活動にご協力ください。



子どもたちの登下校時、一緒に歩きパトロールする補導センター職員

※「子どもを守る家」事業は、市内で1726軒の皆さんに協力いただいています。